

## 「東通天然ヒラメ刺身重」が3,000食を突破!



「いつか食べてみたかった」と3,000人目になった伊勢田さん(写真左から2人目)

「東通天然ヒラメ刺身重」(略称・ヒラメ重)が、デビューから96日目で累計提供食数が3,000食を突破しました!

3,000食を突破した10月4日には、提供店舗の一つである「松楽」(老部地区)を会場に記念セレモニーが開催されました。

セレモニーでは、3,000食目のご注文をいただいた伊勢田綾子さん(むつ市在住)に、越善村長から感謝状が贈られ、応援に駆け付けたプロデューサーのヒロ中田氏からも記念品が贈呈されました。

3,000食の突破は、年間提供数6,000食を目指すヒラメ重にとっては折り返し地点にあたり

ます。7月のデビュー以来、8月は長期にわたる時化や、9月には台風の影響があり、活魚にこだわるヒラメ重は提供できない期間もありました。しかしながら、村内のみならず、県内各地からもヒラメ重を求めてたくさんの方に訪れていたため、わずか3店舗で3,000食を突破することができました。

お客様から特に好評いただいているのが、5種類のお刺身や3種類のご飯物、イタリア料理の汁物といったようにヒラメを様々な料理や味わいで堪能できるという点。

デビュー後約3ヶ月での年間目標折り返しに、越善村長も「予想以上の人気にうれしく思う。高級な天然ヒラメを絶やさず提供し、より多くの人に東通村のヒラメを味わってほしい」と期待を寄せました。

これから冬を迎える東通村の天然ヒラメは、身に脂が乗り、いわゆる「寒ヒラメ」として旬を迎えます。旨味がのった寒ヒラメと東通村が誇る地場産食材オールスターズが贅沢にコラボした「東通天然ヒラメ刺身重」。ぜひ味わっていただき、ご友人や大切なお客様への“おもてなし”にご活用ください。

10月5日(木)、「エネルギー政策促進フォーラム2017 in 下北」が村体育館で開催されました。

このフォーラムは、日本のエネルギー事業の問題点についての討論を行い、原子力発電事業の今後を、地域一体となって考えることを目的として行われています。

最初に、実行委員長の川村寛氏(東通村商工会会長)による開会宣言と、其田桂氏(青森地域エネルギー施設地商工団体協議会会長・むつ商工会議所会頭)による主催者挨拶に続いて、越善靖夫東通村長、青森県知事代理の佐々木青森県副知事を始め、来賓の方々が挨拶を行いました。

## エネルギー政策促進フォーラム2017 in 下北 開催!



越善村長による挨拶



中村メイコ氏、神津カナナ氏、増田明美氏による鼎談(ていだん)



東通中学校3年生と大槻淳氏によるトークセッション

次に第1部の「女性視点からの、さまざまなベストミックス」では、女優の中村メイコ氏、作家の神津カナナ氏、スポーツジャーナリストの増田明美氏が、芸能活動やスポーツの話題で来場者の笑いをさそいながら、火力・原子力・再生可能エネルギーのベストミックスについて、鼎談(ていだん)しました。

第2部では講師の宮健三氏(一般社団法人原子力国民会議代表理事)が、原子力政策の現状課題と社会システムの再構築について講演した後、東通中学校3年生4名と大槻淳氏(東通村商工会副会長)が、東通村の未来についてのトークセッションを行い、最後に宮下宗一郎むつ市長の総括により、フォーラムは締めくくられました。